

# 令和6年度 定期作況報告

〈令和6年11月20日現在〉

地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 道南農業試験場

## 1. 気象経過

### 1) 融雪期以降の経過

根雪始は平年に比べ25日遅く、根雪終は27日早く、積雪期間は平年より51日短かった。また、耕鋤始は平年並であった。晩霜は17日早く、本年の初霜は10月21日で平年より2日早かった。無霜期間は15日長かった。(表1上)。

4月：平均気温は2.3℃、最高気温は2.9℃、最低気温は2.5℃高かった。降水量は平年より36.6mm少なく、平年の43%であった。日照時間は18.6時間多く、同110%であった(表2)。

5月：平均気温は0.6℃、最高気温は0.6℃、最低気温は平年並であった。降水量は平年より33.4mm多く、平年の151%であった。日照時間は1.9時間多く、同101%であった。

6月：平均気温は1.6℃、最高気温は1.8℃、最低気温は1.1℃高かった。降水量は平年より46.9mm少なく、平年の60%であった。日照時間は12.5時間多く、同107%であった。

7月：平均気温は1.4℃、最高気温は1.6℃、最低気温は1.3℃高かった。降水量は平年より58.0mm多く、平年の165%であった。日照時間は13.5時間多く、同110%であった。

8月：平均気温は2.2℃、最高気温は2.2℃、最低気温は2.4℃高かった。降水量は平年より24.5mm多く、平年の115%であった。日照時間は9.1時間少なく、同93%であった。

9月：平均気温は1.2℃、最高気温は1.8℃、最低気温は平年並であった。降水量は平年より98.8mm少なく、平年の20%であった。日照時間は41.0時間多く、同125%であった。

10月：平均気温は2.0℃、最低気温は2.2℃、最高気温は1.7℃高かった。降水量は平年より37.9mm多く、平年の137%であった。日照時間は1.4時間多く、同101%であった。

農耕期間中(5~9月)の気温、降水量及び日照時間の推移を平年と比較すると以下の通りである(表1下)。

**平均気温**：月別では5~9月の全期間高かった。なお旬別では5月下旬、6月上旬は平年より低く、5月上旬が平年並で、他の旬は全て平年より高かった。この期間の日平均気温の積算値は3031℃であった(平年差+211℃、平年比107%)。

**降水量**：5、7、8月は平年より多く、6、9月は少なかった。この期間の降水量の積算は524mmであった(平年差-30mm、平年比95%)。

**日照時間**：6、7、9月は平年より多く、5月は平年並で、8月は少なかった。この期間の日照時間の積算は879時間であった(平年差+60時間、平年比107%)。

表 1. 季節表および農耕期間の平均気温、降水量、日照時間の積算値

項目 年次	前年			本年						
	初霜 (年月日)	根雪始 (年月日)	根雪終 (年月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年月日)	耕鋤始 (年月日)	晩霜 (年月日)	初霜 (年月日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年月日)
本年	R5.11.05	R6.1.07	R6.2.13	38	R6.4.09	R6.4.08	R6.4.10	R6.10.21	194	R6.11.07
平年	10.21	12.13	3.11	89	4.17	4.08	4.27	10.23	179	11.10
比較	15	25	▲ 27	▲ 51	▲ 8	0	▲ 17	▲ 2	15	▲ 3

期間		項目	積算気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)
5月上旬 ～ 9月下旬	本年		3031	524	879
	平年		2820	553	819
	比較		211	▲30	60
	(%)		107	95	107

注 1) 農耕期間の積算値は北斗市のアメダス、耕鋤始は道南農試により、それ以外は函館地方気象台（函館市美原）の観測値である。晩霜は、函館地方気象台の気象データからの推定値である（最低気温が 1.3℃以下、最低気温起時に雨天の場合は除く）。

注 2) 平年値は前 10 か年の平均値である。ただし、晩霜については、令和元年(2019 年)までは、函館地方気象台の観測値であり、令和 2 年(2020 年)以降は推定値である。

注 3) 表中▲は「早」または「少」を示す。

表 2. 気象表

月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)				日照時間(hr)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	%	本年	平年	比較	%
4	上	6.3	5.5	0.8	12.5	10.7	1.8	-0.3	0.4	▲ 0.7	1.5	16.3	▲ 14.8	9	81.6	59.7	21.9	137
	中	11.1	7.4	3.7	17.3	12.8	4.5	5.6	1.8	3.8	8.5	32.1	▲ 23.6	26	71.1	63.4	7.7	112
	下	12.1	9.5	2.6	17.5	15.3	2.2	7.7	3.2	4.5	18.0	16.2	1.8	111	61.1	72.1	▲ 11.0	85
5	上	11.7	11.4	0.3	17.7	17.0	0.7	5.5	5.8	▲ 0.3	32.0	18.6	13.4	172	80.4	65.7	14.7	122
	中	15.1	12.7	2.4	21.1	18.2	2.9	9.0	7.5	1.5	48.0	25.2	22.8	190	73.2	66.2	7.0	111
	下	14.0	14.8	▲ 0.8	18.7	20.3	▲ 1.6	9.2	9.9	▲ 0.7	19.5	22.3	▲ 2.8	87	58.3	78.1	▲ 19.8	75
6	上	14.7	15.7	▲ 1.0	18.6	21.0	▲ 2.4	11.0	11.0	0.0	10.0	33.5	▲ 23.5	30	36.6	68.8	▲ 32.2	53
	中	20.0	16.5	3.5	25.5	21.0	4.5	15.2	12.7	2.5	10.5	30.4	▲ 19.9	35	78.7	48.2	30.5	163
	下	20.1	18.0	2.1	25.4	22.2	3.2	15.3	14.5	0.8	48.5	52.0	▲ 3.5	93	66.4	52.2	14.2	127
7	上	20.9	19.5	1.4	25.5	23.6	1.9	17.2	16.1	1.1	32.0	36.1	▲ 4.1	89	35.3	47.0	▲ 11.7	75
	中	23.1	21.3	1.8	28.0	25.4	2.6	18.8	18.0	0.8	3.5	20.9	▲ 17.4	17	85.9	40.1	45.8	214
	下	24.0	22.9	1.1	27.6	27.4	0.2	21.4	19.4	2.0	111.5	32.0	79.5	348	32.4	53.0	▲ 20.6	61
8	上	25.2	23.3	1.9	29.6	27.7	1.9	22.2	19.9	2.3	1.5	44.5	▲ 43.0	3	34.4	46.7	▲ 12.3	74
	中	24.7	21.8	2.9	28.2	25.7	2.5	22.0	18.5	3.5	31.0	61.1	▲ 30.1	51	43.1	39.5	3.6	109
	下	23.8	21.9	1.9	28.4	26.2	2.2	19.5	18.1	1.4	151.0	53.4	97.6	283	50.1	50.5	▲ 0.4	99
9	上	22.3	20.9	1.4	28.5	25.5	3.0	15.6	16.6	▲ 1.0	4.0	36.0	▲ 32.0	11	101.4	53.0	48.4	191
	中	19.5	18.5	1.0	25.3	23.5	1.8	14.3	14.0	0.3	13.5	48.8	▲ 35.3	28	48.0	52.8	▲ 4.8	91
	下	17.8	16.8	1.0	22.6	22.2	0.4	13.4	11.6	1.8	7.0	38.5	▲ 31.5	18	54.9	57.5	▲ 2.6	95
10	上	16.4	14.4	2.0	21.1	19.7	1.4	12.0	9.1	2.9	32.5	45.9	▲ 13.4	71	34.6	51.8	▲ 17.2	67
	中	13.3	11.3	2.0	19.9	17.0	2.9	6.4	5.7	0.7	61.5	25.6	35.9	240	72.9	56.7	16.2	129
	下	11.6	9.7	1.9	17.3	15.0	2.3	5.8	4.3	1.5	46.0	30.6	15.4	150	59.1	56.7	2.4	104
4月	9.8	7.5	2.3	15.8	12.9	2.9	4.3	1.8	2.5	28.0	64.6	▲ 36.6	43	213.8	195.2	18.6	110	
5月	13.6	13.0	0.6	19.2	18.6	0.6	7.9	7.8	0.1	99.5	66.1	33.4	151	211.9	210.0	1.9	101	
6月	18.3	16.7	1.6	23.2	21.4	1.8	13.8	12.7	1.1	69.0	115.9	▲ 46.9	60	181.7	169.2	12.5	107	
7月	22.7	21.3	1.4	27.1	25.5	1.6	19.2	17.9	1.3	147.0	89.0	58.0	165	153.6	140.1	13.5	110	
8月	24.5	22.3	2.2	28.7	26.5	2.2	21.2	18.8	2.4	183.5	159.0	24.5	115	127.6	136.7	▲ 9.1	93	
9月	19.9	18.7	1.2	25.5	23.7	1.8	14.4	14.1	0.3	24.5	123.3	▲ 98.8	20	204.3	163.3	41.0	125	
10月	13.7	11.7	2.0	19.4	17.2	2.2	8.0	6.3	1.7	140.0	102.1	37.9	137	166.6	165.2	1.4	101	

注 1) 観測値は北斗市のアメダスデータを使用、平年値は前 10 か年による。

注 2) 表中▲印は「低」または「少」を示す。

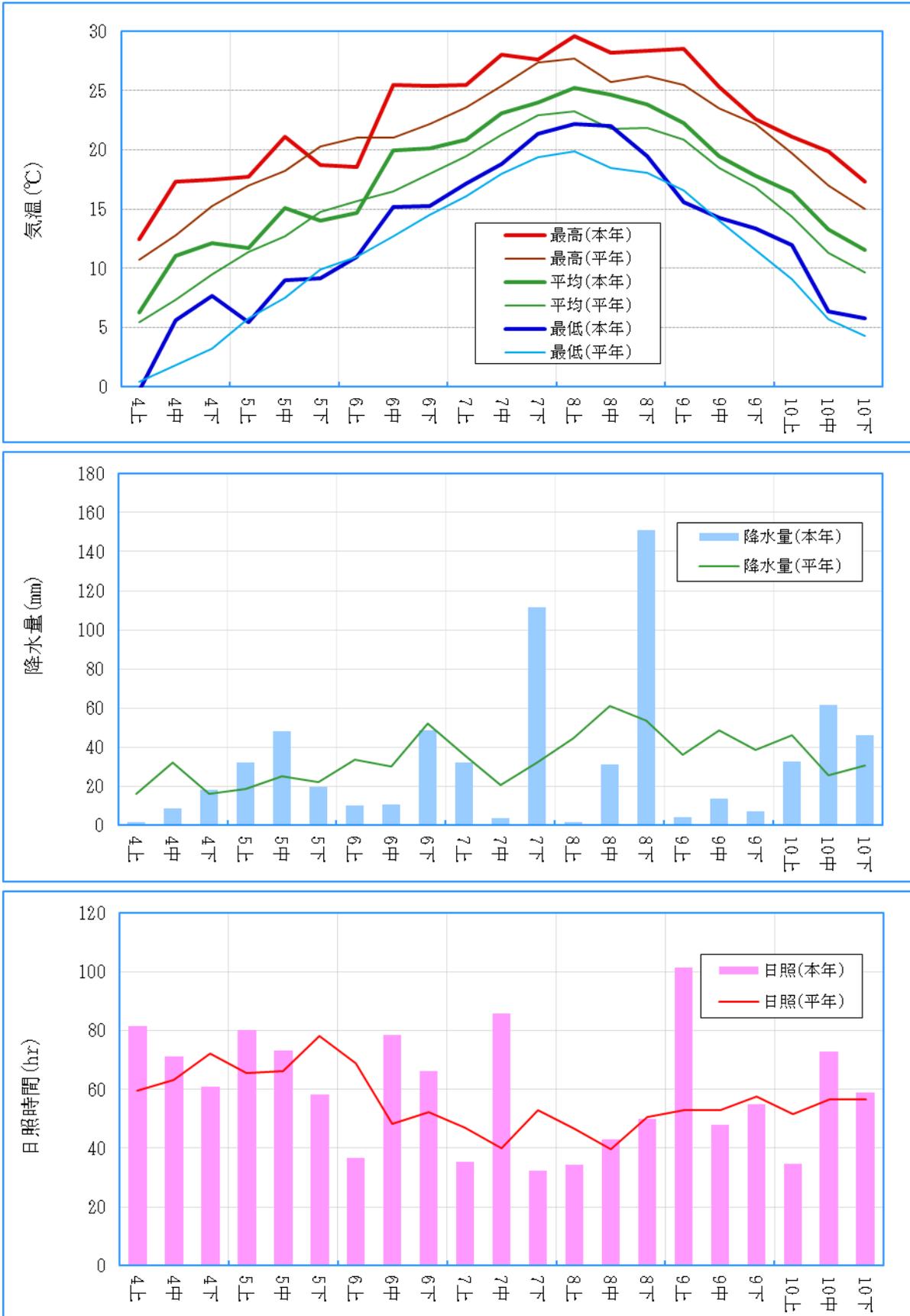


図 1. 気温、降水量及び日照時間の平年との比較 (令和 6 年、北斗市アメダスデータ)

## 2. 当場の作況（水稻）

### 作況：やや不良

事由：播種は平年より1日遅い4月23日に行った。出芽までの日数は平年並で、出芽期は4月28日であった。育苗期間中、4月下旬は高温で寡照、5月上旬は平年並の気温で多照、5月中旬は高温で多照であり、全体として高温でやや多照であった。

移植は平年より1日遅い5月21日に行った。移植時の苗の形質において、草丈は平年より長く、葉数・茎数は平年より多く、地上部乾物重は平年を上回って重かった。苗の充実度を表す地上部乾物重/草丈の値も平年を上回っていた。

5月下旬から6月上旬は低温で寡照に推移し、苗の活着および生育は遅れた。6月中旬は高温で多照に推移し、生育は回復した。6月20日時点では、草丈は平年より長く、葉数は平年並で、茎数は「ふっくりんこ」で平年よりやや少なく、「ななつぼし」でやや多く、2品種平均で茎数は平年並であった。幼穂形成期は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに平年並であった。幼穂形成期後の7月上旬、中旬ともに高温であったため、生育は進み、止葉期は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに、平年より3日早く、出穂期は「ななつぼし」「ふっくりんこ」とともに、平年より4日早かった。止葉葉数は「ふっくりんこ」で平年並、「ななつぼし」はやや多かった。稈長は平年並で、穂長は平年より長く、穂数は「ふっくりんこ」で平年の105%、「ななつぼし」は平年の103%とやや多かった。7月下旬～9月上旬にかけて、高温に推移したため、登熟は早く進み、登熟日数は「ふっくりんこ」で2日短く、「ななつぼし」で4日短かった。8月23日以降、風雨により倒伏が生じた。成熟期は「ふっくりんこ」で6日、「ななつぼし」で平年より7日早かった。「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに穂数は多く、一穂粒数は「ふっくりんこ」でやや多く、「ななつぼし」は平年並で、稔実歩合は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに平年並であったことから、 $m^2$ 当稔実粒数は「ふっくりんこ」で110%と多く、「ななつぼし」で103%とやや多かった。一方で登熟歩合は平年より「ふっくりんこ」で16.5ポイント、「ななつぼし」で8.4ポイント低く、かなり低かった。「ふっくりんこ」の精玄米千粒重は平年より0.4g軽く、屑米歩合が平年より8.1ポイント高かった。精玄米重は53.7kg/aであり、平年比90%と少なかった。「ななつぼし」の精玄米千粒重は平年より0.4g軽く、屑米歩合は平年より3.5ポイント高かった。精玄米重は62.2kg/aであり、平年比103%と平年よりやや多かった。登熟前半(7月下旬～8月上旬)の日照不足と、登熟後半(8月下旬)の大雨による全面的な倒伏により登熟歩合が低下し、両品種とも平年より屑米歩合が高くなったと考えられる。

なお、検査等級は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに平年並であった。なお、落等要因はともに整粒不足であった。

以上のことから、本年の作況は「やや不良」である。

注)本作況は、道南農業試験場における平年値に対する水稻の生育良否に基づいたものであり、渡島・檜山を代表するものではありません。

表3 水稻の生育（道南農試）

項目		品種名 /年次	ふっくりんこ			ななつぼし		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期	(月日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1
	出芽期	(月日)	4.28	4.27	1	4.28	4.27	1
	移植期	(月日)	5.21	5.20	1	5.21	5.20	1
	幼穂形成期	(月日)	7.01	7.01	0	6.27	6.27	0
	止葉期	(月日)	7.14	7.17	▲ 3	7.12	7.15	▲ 3
	出穂期	(月日)	7.22	7.26	▲ 4	7.20	7.24	▲ 4
	成熟期	(月日)	9.09	9.15	▲ 6	9.02	9.09	▲ 7
	穂揃日数	(日)	3	7	▲ 4	3	6	▲ 3
	登熟日数	(日)	49	51	▲ 2	44	48	▲ 4
	生育日数	(日)	139	146	▲ 7	132	141	▲ 9
移植時	草丈	(cm)	15.8	13.4	2.4	14.8	13.1	1.7
	葉数	(枚)	3.8	3.3	0.5	3.8	3.3	0.5
	茎数	(本/個体)	1.67	1.28	0.39	1.40	1.06	0.34
	地上部乾物重	(g/100本)	3.72	2.72	1.00	3.86	2.62	1.24
	地上部乾物重/草丈		0.24	0.20	0.04	0.26	0.20	0.06
本田生育	草丈	6月20日	35.6	33.1	2.5	36.7	34.0	2.7
	(cm)	7月20日	84.1	78.0	6.1	88.4	80.9	7.5
		8月20日	92.3	93.5	▲ 1.2	93.1	93.4	▲ 0.3
	葉数	6月20日	7.6	7.7	▲ 0.1	7.6	7.9	▲ 0.3
	(枚)	7月20日	10.8	10.6	0.2	10.9	10.5	0.4
		8月20日	10.8	10.7	0.1	10.9	10.6	0.3
	止葉葉数	(枚)	10.8	10.7	0.1	10.9	10.6	0.3
	茎数	6月20日	515	550	▲ 35	515	478	37
(本/m <sup>2</sup> )	7月20日	754	811	▲ 57	650	721	▲ 71	
	8月20日	746	711	35	675	651	24	
成熟期	稈長	(cm)	77.1	77.9	▲ 0.8	76.7	76.1	0.6
	穂長	(cm)	17.0	16.0	1.0	17.3	16.3	1.0
	穂数	(本/m <sup>2</sup> )	739	703	36	669	647	22
収量構成要素	一穂粒数	(粒)	50.1	47.3	2.8	50.7	51.2	▲ 0.5
	m <sup>2</sup> 当粒数	(×1000)	37.0	33.2	3.8	34.0	33.0	1.0
	稔実歩合	(%)	92.7	94.1	▲ 1.4	94.8	94.5	0.3
	m <sup>2</sup> 当稔実粒数	(×1000)	34.3	31.3	3.0	32.2	31.2	1.0
	同上平年比		110	100	10	103	100	3
	登熟歩合	(%)	68.6	85.1	▲ 16.5	73.2	81.6	▲ 8.4
	粒摺歩合	(%)	66.6	76.1	▲ 9.5	72.9	78.4	▲ 5.5
	屑米重	(kg/a)	10.1	5.0	5.1	5.8	3.2	2.6
	屑米歩合	(%)	15.8	7.7	8.1	8.5	5.0	3.5
	精玄米千粒重	(g)	22.3	22.7	▲ 0.4	21.3	21.7	▲ 0.4
	収量	わら重	(kg/a)	61.6	67.7	▲ 6.1	61.6	68.1
精粒重		(kg/a)	80.6	78.5	2.1	85.3	77.0	8.3
精玄米重		(kg/a)	53.7	59.7	▲ 6.0	62.2	60.4	1.8
収量平年比		(%)	90	100	▲ 10	103	100	3
玄米検査等級		(等)	2上	2上	—	1下	1下	—

注1) 平年値は前7年間の令和4年(2022年、最豊年)、平成30年(2018年、最凶年)を除く5年の平均値を用いた。

注2) 苗は中苗紙筒、栽植密度は25.3株/m<sup>2</sup> (33cm×12cm)、1株3本植え。

注3) 本田にはN、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、K<sub>2</sub>O成分をそれぞれ7.5、9.1、6.5(kg/10a)施用した。

注4) 篩目は1.90mmを使用し、精玄米重、千粒重とも水分15.0%に補正した。

注5) 登熟歩合は比重1.06の塩水で調査した。

注6) 比較の▲印は「減」または「早」を示す。

### 3. 当場の各月ごとの作況（水稻）

5月20日：やや良

事由：播種は平年より1日遅い4月23日に行った。出芽までの日数は平年並で、出芽期は4月28日であった。育苗期間中、4月下旬は高温で寡照、5月上旬は平年並の気温で多照、5月中旬は高温で多照であり、全体として高温でやや多照であった。移植は平年より1日遅い5月21日に行った。移植時の苗の形質において、2品種ともに草丈は平年より長く、葉数・茎数は平年より多く、地上部乾物重は平年を上回って重かった。苗の充実度を表す地上部乾物重/草丈の値も2品種ともに平年を上回っていた。

以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

6月20日：平年並

事由：5月下旬から6月上旬は低温で寡照に推移し、苗の活着および生育は遅れた。6月中旬は高温で多照に推移し、生育は回復した。2品種ともに草丈は平年より長く、葉数は平年並で、茎数は「ふっくりんこ」で平年よりやや少なく、「ななつぼし」でやや多かった。2品種平均で茎数は平年並であった。

以上のことから、現在の作況は「平年並」である。

7月20日：平年並

事由：幼穂形成期は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに平年並であった。幼穂形成期後の7月上旬、中旬ともに高温であったため、生育は進み、止葉期は「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに、平年より3日早かった。「ななつぼし」の出穂期は7月20日で、平年より4日早かった。「ふっくりんこ」「ななつぼし」とともに草丈は平年より長く、葉数は平年並であった。茎数は平年より少ないが、生育が早く進んでいることを勘案し、8月20日の平年値や成熟期の穂数の平年値と比較すると、「ふっくりんこ」はやや多く、「ななつぼし」は同等であることから、平年並以上の穂数になることが考えられる。

以上のことから、現在の作況は「平年並」である。

8月20日：やや良

事由：「ななつぼし」「ふっくりんこ」とともに、出穂期は平年より4日早かった。7月下旬～8月中旬は、高温に推移したため、登熟は進み、籾の黄熟化が進んだ。そのため本田生育調査と合わせて、成熟期の調査も行った。止葉葉数は「ふっくりんこ」で平年並、「ななつぼし」はやや多かった。草丈は平年並であった。茎数は「ふっくりんこ」で平年の105%、「ななつぼし」は平年の104%とやや多かった。また稈長は平年並で、穂長は平年より長く、穂数は「ふっくりんこ」で平年の105%、「ななつぼし」は平年の103%とやや多かった。

以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

9月20日：不良

事由：8月中旬～9月上旬にかけて、高温に推移したため、登熟は早く進み、登熟日数は「ふっくりんこ」で2日短く、「ななつぼし」で4日短かった。8月23日以降、風雨により倒伏が生じた。成熟期は「ふっくりんこ」で6日、「ななつぼし」で平年より7日早かった。「ふっくりんこ」「ななつぼし」ともに穂数は多く、一穂粒数は「ふっくりんこ」でやや多く、「ななつぼし」は平年並で、稔実歩合は「ふっくりんこ」「ななつぼし」ともに平年並であったことから、 $m^2$ 当稔実粒数は「ふっくりんこ」で110%と多く、「ななつぼし」で103%とやや多かった。一方で登熟歩合は平年より「ふっくりんこ」で16.5ポイント、「ななつぼし」で8.4ポイント低く、かなり低い登熟歩合となった。

以上のことから、現在の作況は「不良」である。

10月20日：やや不良

事由：「ふっくりんこ」の精玄米千粒重は平年より0.4g軽く、屑米歩合が平年より8.1ポイント高かった。精玄米重は53.7kg/aであり、平年比90%と少なかった。「ななつぼし」の精玄米千粒重は平年より0.4g軽く、屑米歩合は平年より3.5ポイント高かった。精玄米重は62.2kg/aであり、平年比103%と平年よりやや多かった。登熟前半(7月下旬～8月上旬)の日照不足と、登熟後半(8月下旬～9月上旬)の大雨による全面的な倒伏により登熟歩合が低下し、両品種とも平年より屑米歩合が高くなったと考えられる。

以上のことから、現在の作況は「やや不良」である。